

6年生の皆さん、卒業おめでとう。

私は、皆さんが2年生の時からの5年間を知っている校長です。皆さんには、低学年の頃から、ずうっと変わらなかった良さがあります。それは、仲がいいことと優しいこと。それがずうっと変わらなかったということは、素晴らしいことです。そんな学年は、滅多にありません。

だから、6年生を送る会で、私は、在校生に心から言いました。「6年生のように、仲良く優しいクラスになりなさい」と。

そんな皆さんには、本当は、いつまでも上神明小学校にいてほしいと思っています。しかし、今日こうして卒業させて、お別れをしないとイケません。

なぜでしょうか。それは、皆さんを新しいステージに送り出して、新しい出会い、新しいご縁に巡り合わせないとイケないからです。

皆さんが、素晴らしい子ども達に育ってきたのはなぜでしょうか。それは、素晴らしい親の元に命を授かり、大切に育ててもらったからです。そして、いい友達、いい先生に巡り合ったからです。そして、特色豊かな上神明小学校で過ごしてきたからです。面倒見のいい地域に恵まれたからです。よく考えてみると、すべてがすべて、出会いとご縁がきっかけであったのです。

目標や夢に向かって、一直線の努力を続けることは、大切で尊いことです。しかし、皆さんのこれからの人生は、目標に向けた努力だけで決まるものではありません。むしろ、現実的には、出会いやご縁がつながって決まっていくものです。友達も、好きな人も、結婚相手も、場合によっては、将来の仕事もすべて、偶然の出会いから始まります。

だからこそ、皆さんに贈りたい言葉があります。

「偶然の出会いやご縁を大事にしなさい」です。

これら出会う一人一人に誠実に向き合しましょう。自分と違うタイプの人の性格や考えを知る努力をしましょう。

しかし、どんな人とも付き合いなさいということではありません。誠実さや思いやりのない人とは、無理に付き合う必要はありません。出会いを大切にす

るということは、そういうことでもあります。

また、たまたまご縁があって任された仕事には、一生懸命に誠実に取り組みましょう。それが、自分の職業になることもあるのです。また、そこからつながったご縁で、人生の生きがいを見出すこともあります。

小さい時から、仲良しで優しさに溢れた皆さんですから、これからの出会いやご縁から、きっと生きる希望や夢をつかむはずです。私は、皆さんのことをそう信じています。まずは、中学校での新しいステージでの活躍を期待しています。

保護者の皆様、お子様の卒業おめでとうございます。小学校6年間の中には、お子様や学級のこと、お悩みになったこともあったかと思えます。しかし、長きにわたって、子どもたちのために、学校に惜しみないご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。

以上、式辞といたします。

令和三年三月二四日

品川区立上神明小学校長 松崎 行雄